

誰もが安心 どこでも安全

心のバリアフリータウン所沢

所沢市交通バリアフリー基本構想



平成 16 年 3 月

所 沢 市

“誰もが安心 どこでも安全

心のバリアフリータウン所沢”を目指して



急激な高齢化社会の進展や、障害の有無に関わらず誰もが同じような日常生活を送るといったノーマライゼーションの考え方が広まる中、さまざまな方々が安全・安心、そして快適に日常生活を送ることは大変重要な課題となっています。第4次所沢市総合計画基本構想におきましても、高齢者や障害者をはじめすべての人に安全で快適な、「やさしいまち」の整備など、バリアフリーに向けた取り組みを進めていくこととしております。

本市では、多くの自治体に比べ、まだ高齢化率は低い状況ですが、今後、確実に高齢化は進んでまいります。また、本市には約6千人の身体に何らかの障害を持たれる方々が生活しておられます。

所沢市交通バリアフリー基本構想は、このような状況を踏まえ、日々の生活の中で高齢者、身体障害者をはじめ多くの方々が利用される公共交通機関や道路などのバリアフリーに向け、公共交通事業者・道路管理者・公安委員会などの関係機関、さらに生活者としての市民が連携しながら、継続的に取り組むことを目的として策定いたしました。

厳しい財政事情の中、限られた財源を有効かつ効率的に活用しながら、「みんなでつくる」という協働の精神で、市・市民、団体、事業者それぞれが役割を分担し、積極的に関わっていただきながら、基本構想の実現に向けてさまざまな事業を進めてまいりますので、一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本基本構想の策定にあたりましてご尽力いただきました所沢市交通バリアフリー基本構想策定協議会の委員の方々をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただいた多くの皆様に厚くお礼申し上げます。

平成16年3月

所沢市長 齋藤 博

目次

| | | |
|-----|-------------------------------|-----|
| 第1章 | はじめに | 1 |
| 1-1 | 基本構想策定の背景と目的 | 1 |
| 1-2 | 交通バリアフリー法の概要 | 2 |
| 1-3 | 基本構想の位置付け | 4 |
| 1-4 | 基本構想策定の流れ | 10 |
| 第2章 | 所沢市の交通バリアフリーに関する概要と課題 | 12 |
| 2-1 | 位置・地勢 | 12 |
| 2-2 | 高齢者・身体障害者の状況 | 13 |
| 2-3 | 交通・旅客施設 | 15 |
| 2-4 | 主要施設 | 18 |
| 2-5 | 鉄道駅とその周辺の状況 | 19 |
| 第3章 | ヒアリング、まち歩き&ワークショップ等による課題と対応方策 | 20 |
| 3-1 | 関係団体ヒアリング | 20 |
| 3-2 | 第1回まち歩き&ワークショップ（第2回協議会） | 29 |
| 3-3 | 第2回まち歩き&ワークショップ（第4回協議会） | 43 |
| 第4章 | 所沢市移動円滑化の目標と基本方針 | 51 |
| 4-1 | 移動円滑化の目標 | 51 |
| 4-2 | 移動円滑化の基本方針 | 51 |
| 4-3 | 基本的な方向性 | 54 |
| 第5章 | 重点整備地区の基本構想 | 55 |
| 5-1 | 重点整備地区の位置 | 55 |
| 5-2 | 特定経路設定の流れ | 56 |
| 5-3 | バリアフリー化すべき経路の抽出 | 57 |
| 5-4 | 特定経路と重点整備地区の設定 | 63 |
| 5-5 | 実施すべき事業 | 66 |
| 5-6 | ソフト施策 | 119 |
| 5-7 | バリアフリーモデル地区における取り組み | 121 |
| 第6章 | バリアフリーの実現に向けて | 124 |
| 参考 | 所沢市交通バリアフリー基本構想策定協議会と検討経緯 | 125 |